

教職員が元気な学校は子どもたちも元気な学校

教職員の働き方改革 -笑顔の学校プロジェクト-

本市の働き方改革は、教職員の働きやすさと働きがいの両立、ワークライフバランスとウェルビーイングの向上を実現し、教育の質の向上をめざすものです。「笑顔の学校プロジェクト」では、「業務改善」「労働安全衛生」「ワークエンゲージメント」の3つの柱を基に各校が取り組みを推進しています。

本市では、令和2年度から学校における働き方改革を本格的に進め、現在、教員業務をサポートする教員業務支援員を全校に配置しています。また、教職員専門の産業保健スタッフ(臨床心理士・保健師)を教育委員会内に配置し、心身の健康管理を強化している点は、全国的にみても先進的な取り組みです。

大学生の声

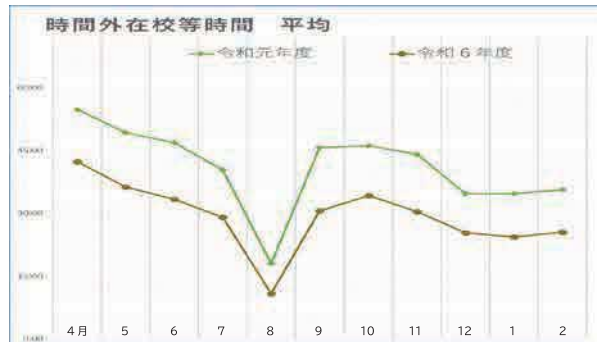
★「教職はブラック」という負のイメージばかり見てしまっていた自分がいましたが、現場の先生と交流して、「教師は働き方改革をしてでも続けたい仕事」と仰っていたことが印象に残っています。

★何かを変えたい時にどうするか尋ねた際、「小さなことから変えてみる。やらない理由探しよりも、まずはやってみること」という先生たちの考えに触れて、将来、自分が働くかもしれない環境が働きやすくなる展望が見え、教師という仕事について前向きに捉えられるようになりました。

※教職課程の大学生との意見交換より抜粋



▲市全体で一丸となり、働き方改革に向けた情報共有や方策検討の様子



▲令和6年度の時間外勤務の平均時間数は令和元年度と比べて25%削減
※3月は新型コロナの影響が大きいため、比較対象とせず

職員一人ひとりが、自身のライフスタイルを考える時間を持つことができる工夫をしていきたいです。そのことが、生徒の多様な価値観を育てることに繋がるのではと感じています。

山田中学校 田中校長

先生1人じゃなく、チームで最先端の学びを提供

横断的な連携による授業改善

初任者研修から管理職研修まで、基本研修・職務研修・専門研修はもちろん、さらに、教職員の「学びたい」意欲を大切に、多くの“学びの場”を設定しています。研修テーマは、支援教育、生徒指導、国語教育、英語教育、体力向上、課題解決型学習(PBL)など様々。「伝達型・ハウツー型」より「探究型」を重視した研修内容となっているので、それぞれの「気づき」から学ぼうとする意識が醸成されることは、実践を発展させる大きな力に繋がっていきます。



GiGAスク！ひらかた

ポータルサイト「GiGAスク！ひらかた」では、各校の授業実践事例集や端末の使い方に関する資料・動画など、ICT活用に関わる情報を掲載。児童生徒・保護者・教職員はいつでも閲覧可能。ICTでつながり、市内どの学校でも最適な学びを提供しています。

テーマごとのワーキングチーム

PBL、生徒指導、支援教育などをテーマに、教職員が学び合うワーキングチームがあります。

より良い授業づくりや安全・安心な学校づくりに向けた実践の共有と対話が、各校でのさらなる実践につながっています。

教育委員会事務局の組織力強化のための勉強会

小さな越境

教育委員会でも定期的に職員が集まり、他部署の取り組みを知るために「小さな越境」と名付けた勉強会を開催しています。より良い教育の推進や課題の解決に向けて、課を超えた職員同士の対話による気づきから、取り組みの深化・広がりをめざしています。自身の担当業務の専門性向上だけでなく、異なる視点・専門性を持つ個人や組織が、相互理解に努め、多様な視点を取り入れることが組織力向上のポイントになると考えています。